



会長 藤本 保
幹事 安井 亜紀子

会長スローガン

「ロータリーを愉しむ」

例会日 / 毎週月曜日 12:30~
例会場 / トキ八会館 4F
TEL 097-532-0611
FAX 097-532-8386

Em ail: oita1985rc@m ist.ocn .ne.jp
ホームページ : www .o ita1985 rc .jp



2014-15年度
国際ロータリーのテーマ
「ロータリーに輝きを」

R I 会 長 ゲイリー・CKホァン
R第2720地区ガバナー 小 山 康 直
大分第4グループガバナー補佐 赤 川 治 之

■ **本日のプログラム (12月22日)** クリスマス例会

- 18:30 点 鐘
会 食
ロータリーソング 「四つのテスト」
ゲスト・ビジターの紹介 会 長 藤 本 保
会 長 の 時 間 会 長 藤 本 保
出 席 報 告 出席担当 藤 田 敬 治
幹 事 報 告 幹 事 安 井 亜 紀 子
委 員 会 報 告 「関係委員会」
ニコニコタイム 坂 本 肇
- 18:40 クリスマス会～「森の木」の子どもたちと一緒に～
司会 坂本 江里子 様
- 18:45 開会の挨拶 会長 藤 本 保
「森の木」ご挨拶・紹介
- 18:55 乾 杯 直前会長 高山 泰四郎
————— 歓 談 —————
- 19:30~20:10 ビンゴ大会
- 20:15~20:30 お楽しみゲーム
「森の木」子どもたちダンス
お礼のこぼば
- 20:55 ロータリーソング 「手にてつないで」
閉会の挨拶

■ **第18回例会の記録 (12月15日)**
会員リレートーク コンパルホールにて

・出席報告 (12月15日)

会 員 総 数	17名 (うち名誉会員 1名)
12月15日	
出 席 免 除	2 名
出 席 会 員 数	12 名
出 席 率	80.00 %
ゲ ス ト	0 名
ビ ジ タ ー	12 名
12月1日	
修 正 出 席 率	86.67 %

(サインのみ受付)

会長の時間 (12月22日) 会 長 藤 本 保

先週はホワイトクリスマスを予感させるかのように、当地にも雪が舞いました。この時期に雪を見るほど冷え込むのは久しぶりです。滅多に積雪のない大分市内では雪降りは心躍る気分になるものですが、豪雪に難儀している各地の様子がニュースで流れるのを連日のように見るたび、大過なく、どうぞひと冬無事にと祈らずにいられません。

今日は家族と過ごす楽しいクリスマス例会です。例年のように森の木のお友達にも参加してもらっています。どのようなプログラムが組まれているのでしょうか？ワクワクしています。間違いなく、子どもたちには、ささやかですがプレゼントが用意されていますので、楽しみにしてください。

地域の第一線で働くロータリアンにとって、職業奉仕はさることながら、家庭奉仕にどれだけ時間と心を配っているのでしょうか。おそらく、気持ちはあっても実行できていないというロータリアンが多いから、世界中で12月を家族月間としたのではないのでしょうか、家族月間を作った由来は調べた範囲では見つかりませんでしたので、勝手に上記のような解釈をしました。キリスト教徒の多い欧米では12月のこの時期なのでしょう。日本では師走と言ひ、職業人には最も忙しい時期であります。だからこそこの時期が最適なのでしょう。

家族とともに、地域への貢献を考え実行すること、このこと自体は、我が国では慣習として出来ていたように思います。しかし、日々忙しい我々にとって、改めて家族との時間を重要視すること、家族のため、延いては地域のために考えを思いめぐらすきっかけとして、この月間を意義あるものにしたものです。

今年1年、いろいろあったことでしょう、締めくくりとして、家族とじっくり時間を共有したいものです。その中から、明日への、そして来年への希望と目標を導き出していきたいものです。

来る新年が皆様にとって素晴らしいものでありますように、メリークリスマス。

ロータリーソング **【四つのテスト】**

真実かどうか みんなに公平か
好意と友情を深めるか
みんなのためになるかどうか

創立30周年記念行事に向けて 日程表

平成26年12月27日(土) 記念式典案内状・登録申込書 印刷完了

平成27年 1月 6日(火) 案内状・登録申込書発送完了

1月 7日(水) 市内8RC新春合同例会PR 藤本会長より

1月13日(火) 市内クラブへ告知活動 ガバナー月信に案内を掲載

1月19日(月) 例会にて30周年についての全員協議会

1月26日(月) 登録申し込み 1次締め切り

2月 2日(月) 未登録RCへの連絡

2月 9日(月) 登録申し込みの最終確認 名簿作成 *各委員会毎に準備進行

2月16日(月) 夜例会にて、家族の会も交えて30周年実行委員会

◆プログラム予定

月	日	曜	プログラム内容
1	12	月	法定休日
1	19	月	全員協議会～創立30周年について
1	26	月	ゲスト 飯田 裕美様 (株)アドコンセプト

■ 次週の例会(第20回 1月7日(水))

市内8RC新春合同例会 12:00～14:10
トキハ会館4F「ローズの間」

小さくなったクラブ規模

ロータリーの友12月号より

第二次世界大戦中、国際ロータリーからの脱会を余儀なくされた日本のロータリーが、1949年に復帰して以来、日本のロータリークラブ数、そしてロータリアン数は、どんどん増えていきました。

「日本のクラブがなくなることはない。日本の会員数が減ることは決してない」。日本のロータリアンは信じて疑うことがなかったのですが、その会員数が前月より減ったのが1996年12月末のことです。それからしばらくの間、会員数は減るものの、クラブの数は増え続けていました。現存のクラブの会員増強が伸び悩んでいる状況を、新しいクラブをつくって会員を勧誘すれば改善できる。そんな思いがあったのでしょうか。

今年7月末現在の日本のロータリアン数は、8万7,972人。この人数は、いつごろの数と同じなのでしょう。1983年7月末が8万8,410人で、現在に近い数字です。今から30年前のことですが、ロータリー歴の長い会員の皆さまは、その頃のことをご記憶のことと思います。そして「日本のロータリアンたちは、ロータリーの可能性、ロータリーの発展を信じて、もっともっと元気が良かった」。そのようにお考えの方も多いことでしょう。今と当時では何が違う野でしょうか。日本のロータリアンは、約13万人という、はるかに多くの会員数を経験しました。もっとふんだんに資金を使って、いろいろな活動を知ったのです。一度広げてしまった活動を縮小するのはとても難しいことだろうと思います。うまく活動を整理し、経費を抑えることに成功したとしても、一抹の寂しさが残ってしまうかもしれません。

1クラブ当たりの会員数も大きく違ってきます。今年の7月末のクラブ数は2,276ですが、1983年7月末のクラブ数は、

1,588でした。クラブ数が増えたということは、1クラブ当たりの会員数が減ったということを意味します。現在、1クラブの平均会員数は、39.5人ですが、1983年同時は55.7人でした。

もう少し、詳しく見てみます。現在、10人以下のクラブが79、11～20人のクラブが386。20人以下のクラブが20.5%「で、なんと全体の5分の1にもなります。1983年当時は、10人以下が1、11～20人が22で、全体の1.5%にすぎませんでした。反対に101人以上のクラブは、現在46、2.0%に対して、1983年は78、4.9%です。

クラブの適正規模がどのくらいかは、クラブの事情によって異なりますが、20人以下のクラブの割合が当時の14倍にもなっていること、これが、今、日本のロータリアンたちが元気を失っている、最も大きな理由なのではないかと思います。

会員数が10人、20人といった規模の小さいクラブでも、素晴らしい活動をしているクラブはたくさんあります。一方で、何かをやるにも人手が足りない、資金が足りないという悩みを抱えているクラブもあります。だからと言って、10人のクラブをいきなり50人にするのは難しいと思います。

今月は家族月間ですが、ロータリークラブの奉仕活動に配偶者や子どもたち、孫達が参加すれば、10人のクラブでも20人、30人の人手を確保することができます。地域社会や自分たちのクラブが実施しようとしている奉仕活動について、近隣のクラブと情報を共有してみたいかがでしょうか。一つのクラブでできないことでも共に活動をすれば、実現できることもあるでしょう。

工夫次第で、ロータリーの活動を広げ、元気にすることができると思います。「ロータリーに輝きを」

「友」編集長 二神典子